

平成29年度 大妻中野中学校 新思考力入試 入学試験 解答用紙
総合 I (2月4日 午前)

受験番号	番	氏名	
座席番号	番		

1

問1	イ	エ	順不同
問2	ウ		
問3	天智天皇		完全解答
問4	(1) ア 長く	(1) イ 長く	
	(2) 幕府が時計で時間を計り定期的に鐘を鳴らすことで人々は時刻を知ることができた。時刻を知らせる鐘は江戸の街に複数設置され、最初の鐘が鳴っているのを聞いた人が別の鐘を鳴らすリレー形式の時報であったため、全ての鐘が鳴るのに、数秒・数分の誤差が生じたため、人々が居場所によって知ることのできる時刻に誤差が生じた。		
問5	イ		
問6	区切り		

この欄には記入しないこと	
2×2	
3	
4	
4	
6	
3	
4	
小計	
28	点

2

問1	(1)	和食	
	(2) 和食の中心である米や野菜の供給量が減少し、乳製品や肉類の供給量が増加していることから、日本の食生活が欧米化し和食離れが進んでいることが読み取れる。長い歴史の中で育まれた和食の伝統が廃れていってしまう可能性が生じてきた。		
問2	ア		
問3	(1) 1500 カロリー	(2) 35 ℃	
問4	炭水化物 → たんぱく質 → 脂肪 (完全解答)		
問5	生産者側の利点：生産者は少量でも直売所で販売することができ、消費者との交流から消費者のニーズをつかみ、それに対応した生産を行うことができる。		
	消費者側の利点：消費者は生産者が身近であることから安心感を持つことができ、流通コストが抑えられていることで比較的安価な農林水産物を購入できる。		
問6	イ		

この欄には記入しないこと	
3	
5	
3	
3×2	
4	
4	
4	
3	
小計	
32	点

*小計、得点欄には何も記入しないこと。

得点	
	点

受験番号	番	氏名	
座席番号	番		

- 解答はすべて解答欄に記入すること。
- 解答用紙の余白には何も書かないこと。
- 得点欄には何も書かないこと。

1. 各5点×4

(1)	①	2
	②	3
(2)	11	回目
(3)	1~10までの数をたして合計を出す作業。	

2. 各4点×5

(1)	14	個
(2)	平均気温	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理由</div> <p>(例) 平均気温の上昇(下降)に応じて、定期的にドリンクの個数も減少(増加)するから。</p>	
(3)	28か29か30 個	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理由</div> <p>(例1) 平均気温が1℃上昇すると、個数はおよそ1個減るから。 (例2) 平均気温とドリンクの個数の合計の数字が38~40になっているから。</p>	

3. (1)8点 (2)12点

(1)	<p>図より、AさんとFさんは線で結ばれていないことがわかるから。</p>
(2)	<p style="text-align: center;">方法 1でも2でも可</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>理由</p> <p>それぞれの方法の図は下の通りになる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>方法1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>方法2</p> </div> </div> <p>(方法1を支持する解答例) 方法2よりAさんの連絡する回数が少なくて済むから。</p> <p>(方法2を支持する解答例) 方法1よりFさんに早く連絡が伝わるから。</p> </div>

得点	
----	--